

高齢期の生きがいに関する
市民意識調査
及び
事業所等意識調査

中間報告書

平成19年11月6日

京 都 市
(財)地方自治研究機構

第1 高齢期の生きがいに関する市民意識調査

1 概要

第1次ベビーブーム世代（いわゆる団塊の世代）を中心に、今後高齢期を迎える市民の生きがいづくり及び社会参加に関する意識、実態、状況、行動等の現状及び今後の意向等を把握するため、市民を対象にアンケート調査を実施。

2 調査対象

京都市に住民登録・外国人登録をしている昭和17年～昭和29年生まれの市民3,000人を層化無作為抽出。

なお、対象者は今後高齢期を迎える年齢層で、第一次ベビーブーム世代（上記の昭和22年～昭和24年生まれ）を中心に、上限は改正高齢者雇用安定法により雇用が確保され就労者が多い層（昭和17年～昭和21年生まれ）、及び下限はこれと同程度の範囲（昭和25年～昭和29年生まれ）で世代の傾向を把握することを目的として設定。

3 調査項目

調査項目は、(1)属性、(2)将来の生活設計、(3)～(6)生きがいづくり活動に関する事項（趣味・生涯学習分野、社会貢献活動分野、就労分野）、(7)高齢期の生きがい活動のための環境 の7項目に大別し、かつ、並行して実施する事業所調査と関連した設問とした。

- (1)属性
- (2)将来の生活設計
- (3)趣味・生涯学習分野
- (4)社会貢献活動分野
- (5)趣味や生涯学習、社会貢献活動を行うための意向
- (6)就労分野
- (7)高齢期の生きがい活動のための環境

4 調査期間

平成19年8月29日（水）から平成19年9月10日（月）まで

回収状況

	割 当 標本数	不到達 標本数	到 達 標本数	回収数	無 効 回答数	有 効 回答数	割当標本数に 対する 有効回答率	到達標本数に 対する 有効回答率
	(a)	(b)	(c) = (a) - (b)	(d)	(e)	(f) = (d) - (e)	(g) = (f) / (a)	(h) = (f) / (c)
市民	3,000	57	2,943	1,336	8	1,328	44.3%	45.1%

※不到達 : 転居先不明で市に返戻されたもの

※無効回答: 白票

市民意識の特徴

1 人気が高い趣味は健康づくり・スポーツと観光・旅行(問13, 問16) …図1

現在、高い人気があるのは「健康づくり・スポーツ」、次いで「観光・旅行」である。高齢期においても同様である。全体的に高齢期に行いたい活動の方が数値は高くなっており、高齢期に入って健康を保持し、積極的に行動したいという意識がうかがえる。

2 活動に参加して社会の役に立ちたい(問16, 問17) …図2, 図3

高齢期における社会貢献活動においても、ほとんどの分野で現在の活動の数値よりも伸びを示している。また、現在「何もしていない」が49.5%に対し、高齢期において行いたい活動が「特にない」が29.0%と数値が減少している。高齢期において社会貢献への意識が高まっていることがうかがえる。社会貢献活動において果たしたい役割は、「得意なことではないが、参加することで役立ちたい」が57.2%、男女ともにこの回答が多いが、女性の中でこの回答を選んだ人は62.4%、男性の中でこの回答を選んだ人は50.4%である。

3 元気なうちはずっと働きたい(問22, 問22-3) …図4, 図5

今後も引き続き、働きたいと思う人は67.9%。そのうち、「年齢に関係なく、元気なうちはずっと」働きたい人は53.9%、「一定の年齢まで」働きたい人は36.3%となっている。この傾向は、男女ともに同じである。

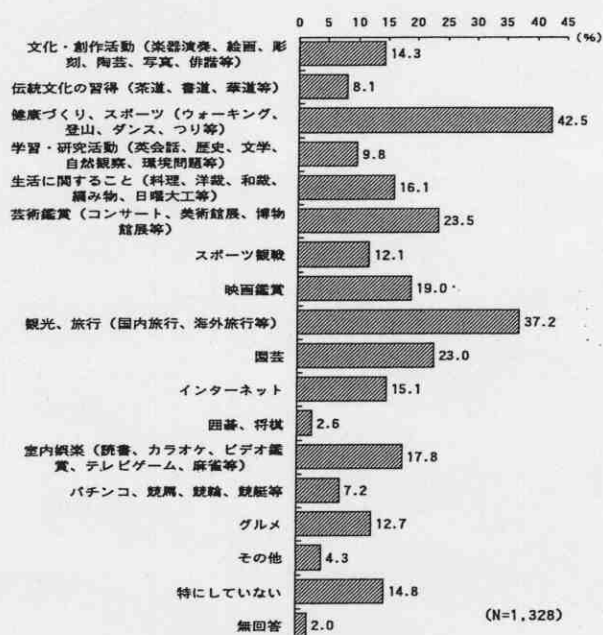
4 健康づくり・介護予防が大切(問28) …図6

高齢期において最も重きをおきたいものとして「健康づくり・介護予防」が34.3%、次いで「家族との団らん・家事」が16.6%、「趣味・生涯学習」が14.7%となっている。男女ともに最も高い数値を示しているのは「健康づくり・介護予防」であるが(男性のうち30.1%、女性のうち37.3%)、男性は次に「趣味・生涯学習」(17.6%)、「家族との団らん・家事」(14.2%)であり、女性では次に「家族との団らん・家事」(18.6%)、「趣味・生涯学習」(12.7%)となっている。

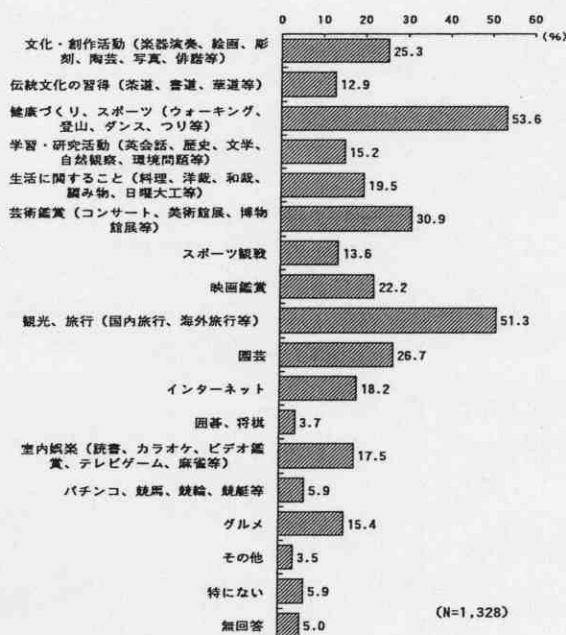
高齢期には健康を第1に、仕事と余暇を両立し、充実した人生を家族とともに！

○図1 趣味・生涯学習

【現在】

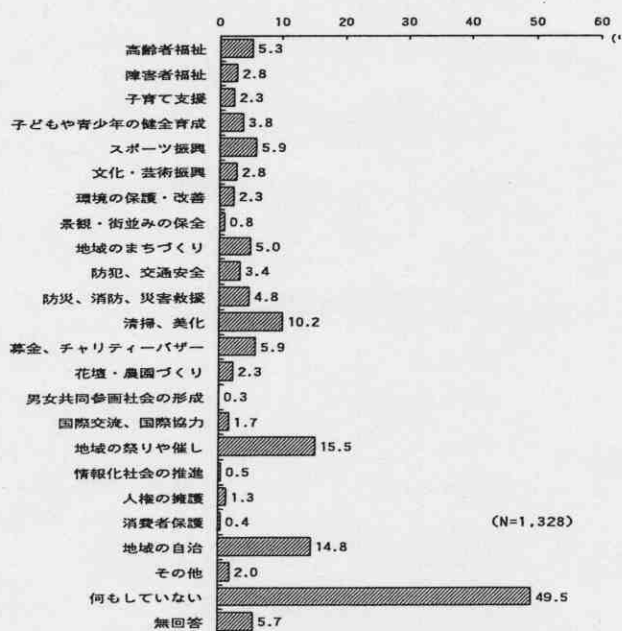


【高齢期】

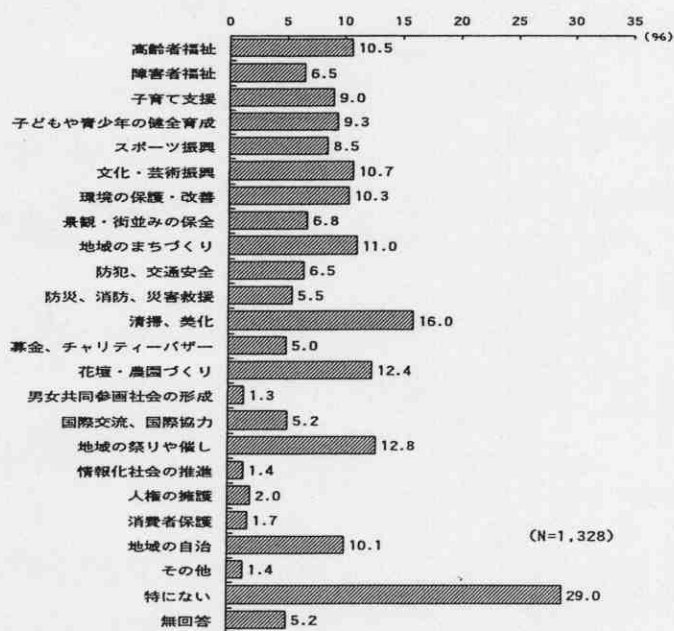


○図2 社会貢献活動

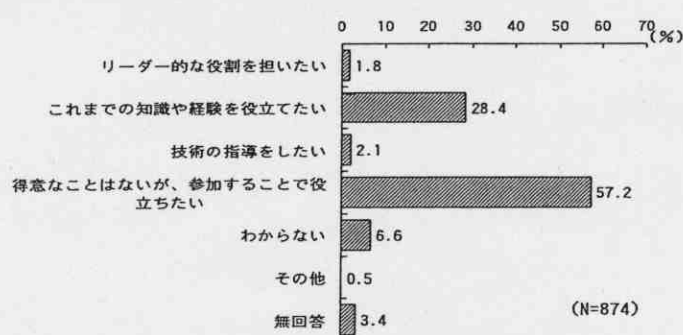
【現在】



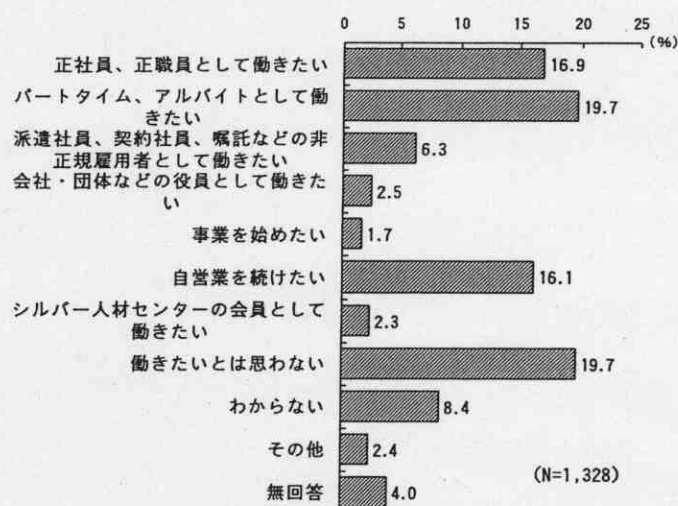
【高齢期】



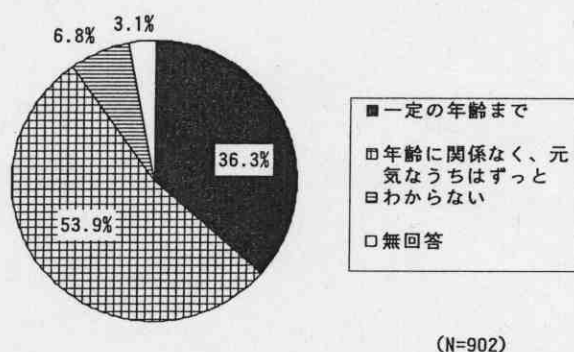
○図3 社会貢献活動で果たしたい役割



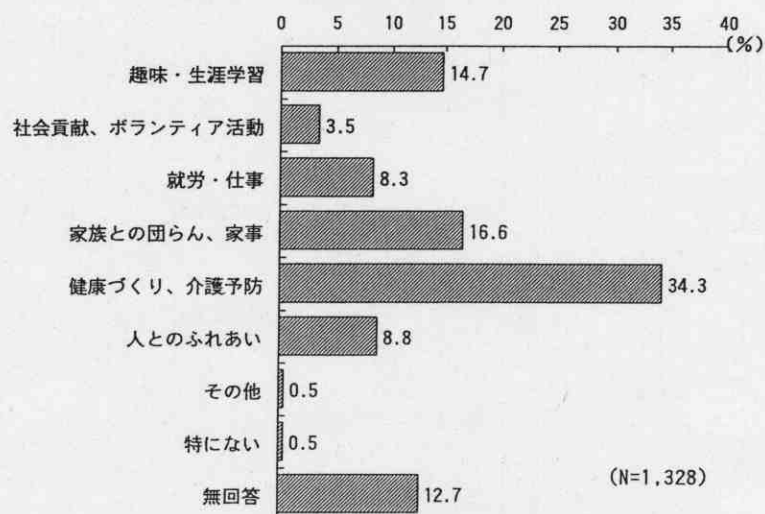
○図4 今後の希望就労形態



○図5 働きたい期間



○図6 高齢期の生活で最も重きをおきたいこと



(※SA＝単一回答，MA＝複数回答，MA3＝3つまで複数回答，FA＝自由記入，NA＝数字記入)

○高齢期の生きがいに関する市民意識調査項目

問No	項目	質問例	回答形式
I 属性 [11問]			
1	生年	あなたが生まれた年は何年ですか。	SA
2	性別	あなたの性別はどちらですか。	SA
3	居住区	あなたがお住まいの区はどちらですか。	SA
4	家族の状況	ご家族の状況についてお答えください。(一人暮らし、夫婦のみ等)	SA
5(1)	生活費・収入源	現在の主な収入源は、次のどれですか。	SA
5(2)	世帯収入	あなたの世帯全体の年間収入は、ボーナスを含めた税込でおよそどのくらいですか。	SA
5(3)	自由なお金の額	その収入のうち、1か月にあなたが自由に使えるお金はどのくらいですか。	SA
6	預貯金額	あなたの家庭では高齢期の生活に向けて、現在どれくらいの預貯金を持っていますか。	SA
7	定住意向	あなたは現在のところに住み続けたいですか。	SA
8	定住に重視する点	あなたが現在のところに定住するために何を重視しますか。	MA
9	健康状態	あなたの健康状態はいかがですか。	SA
10	健康状態の根拠	健康状態はどのようにして判断しましたか。	SA
II 将来の生活設計について [2問]			
11	生活設計についての意識	あなたは、高齢期(65歳以降)の生きがい(趣味・生涯学習、社会貢献活動、就労等)や生活設計についてどのように考えていますか。	SA
12	高齢期の生活費	あなたは、高齢期(65歳以降)の生活費を何からまかなおうと思いますか。	MA
III 趣味・学習に関する事項 [10問]			
12	活動内容	あなたは、現在どのような趣味・生涯学習などをされていますか？	MA
13-1	活動形態	あなたは、主に「誰」と趣味・生涯学習の活動を行っていますか。	SA
13-2	活動場所・機会	あなたは、趣味・生涯学習の活動においてよく利用するものは何ですか。	MA
13-3	活動期間	あなたは、どれくらいの期間、趣味・生涯学習の活動をしていますか。	SA
13-4	活動成果	学習や趣味の活動を通じ何か得るものはありましたか？	MA
13-5	活動しない理由	趣味・生涯学習の活動をしていない理由は何ですか。	MA
14	高齢期の活動内容	あなたは、高齢期(65歳以降)において、趣味・生涯学習の活動で行いたいことはありますか。	MA
14-1	高齢期の活動形態	あなたは、高齢期(65歳以降)において、主に「誰と」趣味・生涯学習の活動を行いたいですか。	SA
14-2	高齢期の活動場所・機会	あなたは、高齢期(65歳以降)において、趣味・生涯学習の活動を行うにあたって、利用したいものは何ですか。	MA
14-3	必要な支援	あなたは、高齢期(65歳以降)において、趣味・生涯学習の活動を行っていくうえで、どのような支援が必要ですか。	MA3
IV 社会貢献活動に関する事項 [11問]			
15	近隣関係	ご近所とのおつきあいはどの程度行っていますか。	SA
16	活動内容	あなたは、現在、どのような社会貢献活動(地域活動、ボランティア活動など)に参加していますか。	MA
16-1	活動形態	あなたは、主にどのようなかたちで社会貢献活動に関わっていますか。	MA

16-2	活動期間	あなたは、どれくらいの期間、社会貢献活動をしていますか。	SA
16-3	活動成果	あなたは、社会貢献活動を通じ何か得るものはありましたか。	MA
16-4	活動しない理由	社会貢献活動をしていない理由は何ですか。	MA
17	高齢期の活動内容	あなたは、高齢期（65歳以降）において、社会貢献活動で行いたいことはありますか。	MA
17-1	高齢期の活動形態	あなたは、高齢期（65歳以降）において、主にどのようなかたちで社会貢献活動を行いたいですか。	MA
17-2	高齢期の役割	あなたは、高齢期（65歳以降）において、社会貢献活動を行うにあたり、どのような役割を果たしたいですか。	SA
17-3	活動に係る実費	あなたは、社会貢献活動を行った際、それに対する報酬、交通費や食費などの実費を得ることについてどう思いますか。	SA
17-4	必要な支援	あなたは、高齢期（65歳以降）において、社会貢献活動を行っていくうえで、どのような支援が必要だと思いますか。	MA3
V 今後、趣味や生涯学習、社会貢献活動等、生きがい活動を行うための意向 [3問]			
18	活動頻度	あなたは、高齢期（65歳以降）において、趣味・生涯学習、社会貢献活動等、生きがい活動をどれくらいのペースで行いたいですか。	SA
19	活動経費	あなたは、高齢期（65歳以降）において、1か月にどれくらいの経費を趣味・生涯学習、社会貢献活動等生きがい活動のために使えると思いますか。	SA
20	必要な情報	あなたは、高齢期（65歳以降）において、趣味・生涯学習や社会貢献活動等、生きがい活動を行っていくうえで、特にどのような情報を知りたいですか。	MA3
VI 就労に関する事項 [8問]			
21	就労形態	あなたは平成19年8月1日現在、次のどれにあたりますか。	SA
21-1	業種	職種及び業種はどれにあたりますか。	SA
22	今後の就労形態	あなたは、今後（または引き続き）、働きたいと思いますか。次の中から今のお気持ちに最も近いものをお選びください。	SA
22-1	今後の業種	今後、希望する職種及び業種はどれにあたりますか。	SA
22-2	今後の就労理由	今後、働きたい（仕事を続けたい）理由は何ですか。	MA
22-3	今後の就労期間	今後、いつまで働きたいですか。	SA
22-4	今後の就労情報	今後、働くための情報をどのように入手しますか？	MA
22-5	必要な支援	今後、働くために、どのような支援が必要ですか。	MA
VII 高齢期の生きがい活動のための環境に関する事項 [8問]			
23	市事業の周知度・利用意向	①本市が行っている高齢者の生きがいづくりや社会参加に関する事業でご存じのものはありますか。 ②今後利用したいものはありますか。	MA
24	利用しない理由	問18の事業を利用しない理由はありますか。	MA
25	環境条件	生きがいづくりを進めていく上で、どのような条件が必要だと思いますか。	MA3
26	生活上の長所	あなたは、これまでの生活を通してどのようなことに自信がありますか。	MA
27	能力の活用意向	あなたは上記のような能力を主にどのように活かしたいですか。	SA
28	高齢期の重点	あなたは高齢期（65歳以降）において、生活に重きを置きたいことは何ですか。	MA3 (NU)
29	世代の意識	あなたは社会が持っている世代のイメージに当てはまりますか。	MA
30	情報収集	あなたは、普段、情報を収集するのに何を使いますか。	MA
31	自由意見	その他、市民の生きがいづくり支援策に関して、何かご意見がありましたらご自由にお書きください。	FA
計 [55問]			

第2 高齢期の生きがいに関する事業所等意識調査

1 概要

市民の生きがいづくり支援を行う市内の関係機関・事業所・施設等を対象に、団塊世代、高齢者等の市民に対する生きがいづくり支援の現状を把握するため、趣味・生涯学習、社会貢献活動、就労の三つの分野において、関係機関・事業所・施設等を対象にアンケート調査を実施。

2 調査対象

○趣味・生涯学習分野

- ・カルチャーセンター
- ・大学・短期大学、専修学校・各種学校
- ・博物館・美術館
- ・スポーツクラブ等

○社会貢献分野

- ・ボランティア団体
- ・NPO法人等

○就労分野

- ・企業
- ・シルバー人材センター等

4 調査内容

調査項目は、調査対象分野別に(1)生きがいづくり支援の現状、(2)被支援者(利用者)の現状・意向、(3)今後の支援意向、(4)具体的な取り組み状況、(5)今後の事業サービス展開への展望、(6)問題点・課題、(7)行政への期待等で構成し、かつ、並行して実施する市民調査と連関した設問とした。

5 調査期間

平成19年8月29日(水)から平成19年9月10日(月)まで

回収状況

	割 当 標本数	不到達 標本数	到 達 標本数	回収数	無 効 回答数	有 効 回答数	割当標本数 に対する 有効回答率	到達標本数 に対する 有効回答率
	(a)	(b)	(c)= (a)-(b)	(d)	(e)	(f)= (d)-(e)	(g)= (f)/(a)	(h)= (f)/(c)
事業所・団体等	1,155	14	1,141	416	2	414	35.8%	36.3%
趣味・生涯学習分野	320	5	315	133	2	131	40.9%	41.6%
社会貢献分野	335	9	326	118	0	118	35.2%	36.2%
就労分野	500	0	500	165	0	165	33.0%	33.0%

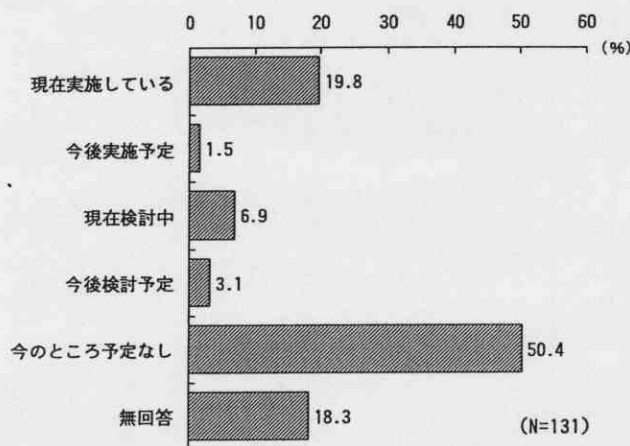
※不到達：転居先不明で市に返戻されたもの

※無効回答：白票

事業所等意識の特徴

○趣味・生涯学習分野

1 60歳以上の趣味や生涯学習、社会参加促進事業等の有無（問25）



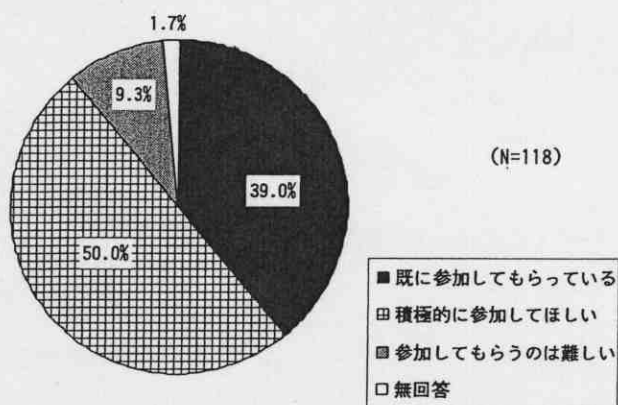
60歳以上の趣味や生涯学習、社会参加促進事業等の有無をみると、「今のところ予定なし」が50.4%で最も多く、次いで「現在実施している」(19.8%)、「現在検討中」(6.9%)の順となっている。

2 60歳以上が利用の中心である趣味や生涯学習、社会参加の促進に関する事業・サービス等の具体的内容（問6-1別紙）

種別	取組名称	内容	備考
映画館	シニア割引サービス	オールナイト等、一部特別興行を除いて、当日入場料金一般¥1800を¥1000に割引	
スポーツ施設	ゆうゆうクラス シニア割引	60歳以上の方のクラスを設けています。60歳以上の方の料金を割引しています。	
スイミングスクール		水中ウォーキング、リハビリ、機能改善など	4000円/月～
大学	公開講座「シニアそろばん講座」	受講者それぞれの経験に応じたそろばんの実技指導	9000円
フィットネスクラブ	シニア会員募集	満60歳以上の方の会員種別。3ヶ月に1度、体成分分析、凝りチェック、パーソナルストレッチ、運動指導	月9975円
フィットネスクラブ	高齢者筋力アップトレーニング教室	65歳以上高齢者に対して、フィジカルなメンタル、脳に対する総合的なトレーニングを行っております。低レベルではない高品質なトレーニング内容となっております。	無料等
和太鼓教室	シニア教室	60歳以上中心の和太鼓レッスン	7000円～

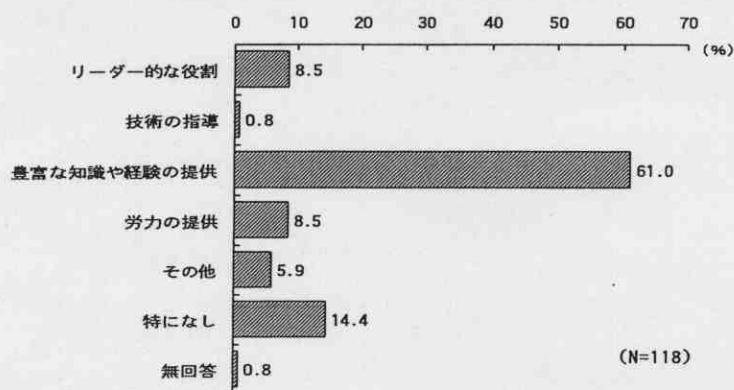
○社会貢献活動分野

1 運営スタッフへの団塊の世代等の方の参加についての考え（問 10）



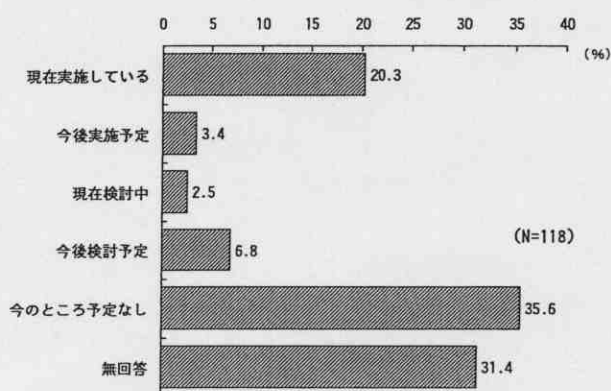
運営スタッフへの団塊の世代等の方の参加についての考えをみると、「積極的に参加してほしい」が 50.0%で最も多く、次いで「既に参加してもらっている」(39.0%)、「参加してもらうのは難しい」(9.3%)の順となっている。

2 運営スタッフとして団塊の世代等に望む役割（問 11）



運営スタッフとして団塊の世代等に望む役割をみると、「豊富な知識や経験の提供」が 61.0%で最も多くなっている。

3 60歳以上の趣味や生涯学習、社会参加促進事業等の有無（問 25）



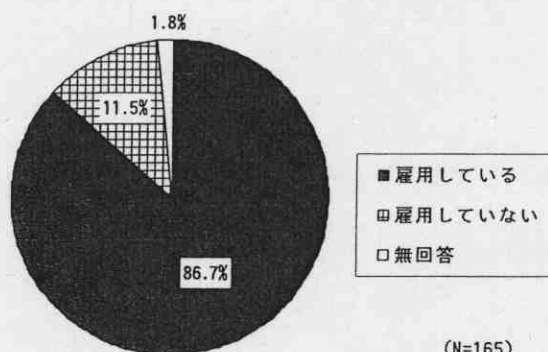
60歳以上の趣味や生涯学習、社会参加促進事業等の有無をみると、「今のところ予定なし」が 35.6%で最も多く、次いで「現在実施している」(20.3%)の順となっている。

4 60歳以上の趣味や生涯学習，社会参加促進事業等の具体的内容（問 25-1 別紙）

種別	取組名称	内容	備考
子育て支援	保育補助員養成講座	子どもと接するのは，どんな方もイキイキしてきます。保育士補助～裏方の仕事まで，保育現場にはたくさんの仕事があります。資格よりも経験を生かし，「こんなことで社会貢献できるのだ！」を知っていただきたい。	0～5000 円
スポーツ振興	ウォーキング	（10 キロ～30 キロまでの例会及び平日ウォーク）年間 30 回 初級ウォーキング教室 月 1 回 ウォーキング・ステーションワーク 月 2 回	参加費 一般 500 円 他協会 300 円 会員無料
文化・芸術振興		和文化の見学体験（能楽，お茶会，友禅染体験など）	2000 円～3000 円
高齢者福祉	シニアの仲間づくり，役割づくり	やりたいことをやってみよう！～個性あふれるサークル活動実践～ 団塊世代などの第二の人生の場として大きな役割を担っているのが，会員で運営するサークル活動である。 「やりたいことができる」ことが，生きがいづくりの大事な 1 つと考えているシーズネットでは，原則として会員の企画によって自由にサークルや教室を開催することができる。現在の会員 321 名が 40 あまりの多種多様な活動を企画運営している。また，法人の独自の事業として暮らしの助け合い事業である「ほっと安心クラブ」や「ひとり暮らし等高齢者安心ネットワーク事業」を展開しているほか，エンディングノートである「旅立ちノート」を販売するなど会員による社会に対する「役割づくり」も積極的に行っている。	会員 200 円，会員外 400 円→各種事業への参加（会員は年会費 3000 円）
高齢者福祉 文化・芸術振興	①生き甲斐づくりと楽しみづくりのサークル⑩ある ②年 3 回大きな発表会 年 3 回小さな行事	①リング歌謡教室 ②シニア吟道有心会 ③岡崎詩吟 ④詩吟歌謡洛南会 ⑤すみれ歌謡 ⑥すすむ歌謡 ⑦うぐいす歌謡 ⑧天麟舞踊会 ⑨小筆書道会 ⑩筆耕 ①春のうたまつり 6 回終了 ②夏の詩吟民謡歌謡舞踊交流会詩吟 ③詩吟まつり	発表会 3000 円以内

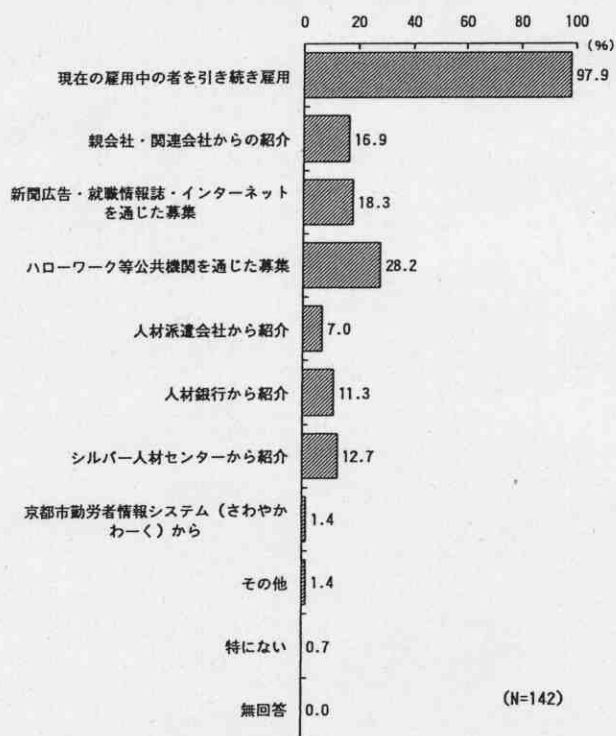
○就労分野

1 60歳以上の人の雇用状況（問 4）



60 歳以上の人の雇用状況を見ると，「雇用している」が 86.7%，「雇用していない」が 11.5%となっている。

2 今後 60 歳以上の人を雇用する方法（問 5-4）



今後 60 歳以上の人を雇用する方法をみると、「現在の雇用中の者を引き続き雇用」が 97.9%で最も多く、次いで「ハローワーク等公共機関を通じた募集」（28.2%）の順となっている。

3 60 歳以上の趣味や生涯学習，社会参加促進事業等の具体的内容（問 10-1 別紙）

種別	取組名称	内容	備考
銀行	各種セミナー	銀行ならではの資金運用セミナー，相続対策セミナー，景気の見通し等のセミナーの他，介護，生活，余暇などをテーマにしたセミナーも実施。今後については，「旅行」「歴史」「料理」なども組み入れたセミナーを実施したいと考えている。（年齢制限なし）	団塊の世代向けに退職金の運用や生活・余暇等に関する情報提供無料

○高齢期の生きがいに関する事業所等意識調査（趣味・生涯学習分野）項目

（※SA＝単一回答，MA＝複数回答，MA3＝3つまで複数回答，FA＝自由記入，NU＝数字記入）

問 No	項目	質問例	回答形式
-	基本事項	団体名，所在地，職員数，部署名，役職名，URL，電話番号，FAX番号，回答者氏名，E-MAIL	FA
1	属性	貴事業所の種別はどれですか。	SA
2	情報発信	貴事業所は，事業，サービスについてどのような情報発信を行なっていますか。	MA
3	利用者の中心年齢層	貴事業所が行なう事業，サービスの中心となる年齢層は。	SA
4	60歳以上の利用者の割合	貴事業所が実施する事業，サービスの利用者の内，60歳以上は何%ですか。	NA
5	利用者の男女構成	貴事業所が実施する事業，サービスの利用者の内，男女構成はどれくらいですか。	NA
6	事業・サービスの有無	貴事業所は，60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習，社会参加の促進に関する事業・サービス等を実施していますか。	SA
6-1	具体的内容	上記の事業，サービス等の具体的内容について，【別紙】にご記入をお願いします。	FA
7	今後の展望	今後，一層の高齢者の増加が見込まれる中，60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習，社会参加の促進に関する事業・サービス等の展開について展望がありましたら，具体的にお聞かせください。	FA
8	問題点・課題	60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習，社会参加の促進に関する事業・サービス等を実施するにあたり，問題点・課題等がありましたら，具体的にお聞かせください。	FA
9	行政への期待	60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習，社会参加の促進に関する事業・サービス等を実施するにあたり，行政に期待することがありましたら，具体的にお聞かせください。	FA
計 [11問]			

○高齢期の生きがいに関する事業所等意識調査（社会貢献活動分野）項目

問 No	項目	質問例	回答形式
団体の概要について			
-	基本事項	団体名、所在地、設立年月、代表社名、会員数、電話番号、FAX番号、団体での役職、ご記入者氏名、URL、E-MAIL	FA
1	活動分野	貴団体の活動分野は、どれですか。	MA
2	主な活動分野	上記の中で、貴団体の最も主な活動分野はどれですか。	NA
3	設立動機	貴団体の設立の動機はどれですか。	MA3
4	予算	貴団体の年間予算はどのくらいですか。	SA
5	収入源	貴団体の収入源の構成比について、お答えください。	NA
運営スタッフ（世話役等活動の中心メンバー）について			
6	運営拠点	貴団体の運営スタッフが普段集まる拠点はどのような場所ですか。	SA
7	構成	貴団体の運営スタッフの構成について、お答えください。	NA
8	職業	貴団体の運営スタッフにはどのようなご職業の方が多くいますか。	MA3
9	求める人材	貴団体は、運営スタッフにどのような人材を求めていますか。	MA3
10	団塊の世代等の参加	貴団体の運営スタッフへの団塊の世代等の方の参加について、どのようにお考えですか。	SA
11	団塊の世代等に求める役割	貴団体は、運営スタッフとして団塊の世代等にどのような役割を望んでいますか。	SA
12	活動状況	貴団体の運営スタッフの活動状況はどの程度ですか。	SA
貴団体会員及び活動への参加者について			
13	男女構成	貴団体の会員（参加者）の男女構成はどのような状況ですか。	NA
14	年齢構成	貴団体の会員（参加者）の中心となる年齢構成はどのような状況ですか。	SA
15	団塊の世代等の加入（参加）	貴団体への団塊の世代等の方の加入（参加）について、どのようにお考えですか。	SA
16	団塊の世代等に求める役割	貴団体では、団塊の世代等の会員（参加者）にどのような役割を望んでいますか。	SA
17	団塊の世代等との協働	団塊の世代等と協働するにあたり、課題・問題点はありますか。	SA
貴団体の活動について			
18	活動状況	貴団体の活動状況はどの程度ですか。	SA
19	情報発信	貴団体の活動等について、どのような情報発信を行っていますか。	MA
20	金銭給付	貴団体は、活動に際して会員（参加者）に何らかの金銭の給付を行っていますか。	SA
21	利用者の中心年齢層	貴団体が行なう事業、サービスの中心となる年齢層は。	SA
22	60歳以上の利用者の割合	貴団体が実施する事業、サービスの利用者の内、60歳以上は何%ですか。	NA
23	利用者の男女構成	貴団体が実施する事業、サービスの利用者の内、男女構成はどれくらいですか。	NA
24	活動上の課題	貴団体の活動における課題等について、どのようなものがありますか。	MA
25	事業・サービスの有無	貴団体は、60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習、社会参加の促進に関する事業・サービス等を実施していますか。	SA
25-1	具体的内容	上記の内容について、【別紙】にご記入をお願いします。	FA
26	今後の展望	今後、一層の高齢者の増加が見込まれる中、60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習、社会参加の促進に関する事業・サービス等の展開について展望がありましたら、具体的にお聞かせください。	FA
27	問題点・課題	60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習、社会参加の促進に関する事業・サービス等を実施するにあたり、問題点・課題等がありましたら、具体的にお聞かせください。	FA
28	行政への期待	60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習、社会参加の促進に関する事業・サービス等を実施するにあたり、行政に期待することがありましたら、具体的にお聞かせください。	FA
計 [30 問]			

○高齢期の生きがいに関する事業所等意識（就労分野）項目

問 No	項目	質問例	回答形式
組織の概要について			
-	基本事項	会社名、本社・支社別、所在地、部署名、電話番号、役職名、回答者氏名	FA
1	業種	貴社の業種はどれですか。	SA
2	従業員数	平成19年8月1日現在の貴社（支社・支店の場合は貴支社・支店）における従業員数についてお聞かせください。	NA
3	定年制	現在の貴社での定年制についてお聞かせください。	SA (NA)
60歳以上の方の雇用について			
4	雇用状況	現在、貴社では、60歳以上の方を雇用されていますか。	SA
4-1	職種	現在雇用している60歳以上の方は、どのような職種ですか。	MA
5	雇用意向	今後、貴社では、60歳以上の方を雇用されますか。	SA
5-1	雇用の際に重要視すること	今後、60歳以上の方を雇用する際、どのようなことを重要視しますか。	MA (FA)
5-2	雇用形態	今後、60歳以上の方を雇用する際、どのような雇用形態等をお考えですか。	SA
5-3	雇用職種	今後、60歳以上の方を雇用するのは、どのような職種をお考えですか。	MA
5-4	雇用手段	今後、60歳以上の方を雇用する際、どのような手段によりますか。	MA
6	生きがいづくり支援の取組	貴社における、60歳以上の方を含めた従業員の生きがいづくりを支援する取組の有無、および検討状況はいかがですか。	SA
6-1	取組内容	その取組みは、どのような内容のものですか。	MA
6-2	具体的内容	上記の内容について、【別紙1】にご記入をお願いします。	FA
60歳以上が利用の中心の取組について			
7	利用者の中心年齢層	貴事業所が行なう事業、サービスの中心となる年齢層は。	SA
8	60歳以上の利用者の割合	貴事業所が実施する事業、サービスの利用者の内、60歳以上は何%ですか。	NA
9	利用者の男女構成	貴事業所が実施する事業、サービスの利用者の内、男女構成はどれくらいですか。	NA
10	事業・サービスの有無	貴団体は、60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習、社会参加の促進に関する事業・サービス等を実施していますか。あてはまるものを1つ選んでください。	SA
10-1	具体的内容	上記の内容について、【別紙2】にご記入をお願いします。	FA
貴団体の活動について			
11	今後の展望	今後、一層の高齢者の増加が見込まれる中、60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習、社会参加の促進に関する事業・サービス等の展開について展望がありましたら、具体的にお聞かせください。	FA
12	問題点・課題	60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習、社会参加の促進に関する事業・サービス等を実施するにあたり、問題点・課題等がありましたら、具体的にお聞かせください。	FA
13	行政への期待	60歳以上の方を対象とした趣味や生涯学習、社会参加の促進に関する事業・サービス等を実施するにあたり、行政に期待することがありましたら、具体的にお聞かせください。	FA
計〔22問〕			

